

令和2年の死亡災害発生状況(速報)

令和3年3月31日現在

<事故の型>

事故の型: 交通事故(道路) 5人 (45%) 墜落、転落 1人 (9%) 飛来、落下 1人 (9%)
 激突され 1人 (9%) はさまれ、巻き込まれ 1人 (9%) 高温・低温の物との接触 1人 (9%)
 破裂 1人 (9%)

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
1	1月	その他の事業	男性	受注・運営関係事務員	50代	<p>帰宅するため就業場所から自家用車の駐車場所へ社用車で移動中、信号機のない市道交差点で一時停止後に発進したところ、西進してきた乗用車と衝突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕刻時は、早めにライトを点灯し、交差点では左右の安全確認を十分に行うこと。 ・交通労働災害防止の安全教育を実施すること。 	<p>一時停止線 普通乗用自動車 被災者が運転する軽自動車</p>	交通事故(道路)	乗用車・バス・バイク
2	2月	その他の卸売業	女性	作業員	70代	<p>屋外で、缶に入れた木材を燃やし暖をとっていたところ、火が被災者の服に燃え移り、被災した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風などにより火が大きくなったり、あおられたりする可能性がある場合は、火に接近しすぎないこと。 ・火を扱う場所に消火用具を備え付けておくこと。 		高温・低温の物との接触	その他の起因物
3	3月	建築工事業	男性	とび職	40代	<p>工事現場での作業終了後、会社事務所に戻るために高速道路を走行していたところ、走行車両が中央分離帯及び走行車線のガードレールに相次いで接触した後に、中央分離帯で停止した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法定速度を遵守し、カーブの手前では十分に減速すること。 ・交通労働災害防止の安全教育を実施すること。 	<p>中央分離帯</p>	交通事故(道路)	乗用車・バス・バイク
4	4月	機械器具設置工事業	男性	空調サービスマン	40代	<p>フロンガスの移充填作業を行っていたところ、配管の接続方法の誤りにより、本来加圧状態になることのないヘッダー(複数の配管を集合させたり分配させるための容器)の内圧が著しく上昇し、底が抜けて破裂した。破裂の衝撃により、ヘッダーの胴部が吹き飛び、被災者の頭部に直撃した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧力の上昇に耐えうる十分な強度及び構造を有したヘッダーを使用すること。 ・配管誤りを防止するために、色分け等による接続先の表示や接続口の形状の差別化等を行うこと。 		破裂	その他の装置、設備
5	5月	砂防工事業	男性	重機オペレーター	40代	<p>ドラグショベルを運転し、平坦な作業箇所から傾斜約40°の斜面を下ろうとしたところ、車体を支えるために斜面に押し当てていたバケットの下の地山が崩れ、当該ドラグショベルが斜面の下方へ向かって転がり落ちた。その際に、運転席から投げ出されたドラグショベルの運転者が地面と運転席との間にはさまれた。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ安全な運行経路を定め、急な斜面をドラグショベルで下ることのないようにすること。 ・転倒又は転落のおそれがある作業を行う際には、運転者にシートベルトを着用させること。 		墜落、転落	掘削用機械

令和2年の死亡災害発生状況(速報)

令和3年3月31日現在

<事故の型>

事故の型: 交通事故(道路) 5人(45%) 墜落、転落 1人(9%) 飛来、落下 1人(9%)
 激突され 1人(9%) はさまれ、巻き込まれ 1人(9%) 高温・低温の物との接触 1人(9%)
 破裂 1人(9%)

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
6	6月	その他の木材・木製品製造業	男性	作業員	30代	<p>不具合により停止してしまった原木の皮むき機の清掃・調整等の作業を複数人で行っていたところ、刃部の清掃を行っていた作業員に皮むき機から排出された丸太(全長約4m、重量約250kg)が激突した。なお、災害発生の直前、他の作業員が被災者に皮むき機から離れるよう声掛けを行ったうえで機械の操作を行っていた。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械設備について、稼働状況を示すパトランプや材料搬出時の警報装置等を取付けること。 機械の運転開始時や可動部の操作時には、付近で作業に従事する作業員に対して合図を徹底して行うこと。 		激突され	その他の木材加工用機械
7	7月	保険業	男性	営業職	20代	<p>客先から帰社するために高速道路上を走行していたところ、車線変更時に他の車両(Y)に接触した。接触時の衝撃により、被災者が運転していた車両(X)は道路右の側壁に激突し、その拍子に被災者は車外に放り出された。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 車線変更を行おうとする3秒前に方向指示器を操作し、車線変更が完了するまで方向指示器による合図を継続させること。 周囲の車両と十分な距離を確保した上で車線変更を行うこと。 		交通事故(道路)	トラック
8	9月	木材伐出業	男性	伐木作業員	60代	<p>山林での皆伐作業中に発生したかかり木を処理するために、チェーンソーを用いて、かかっている木に追い口を作っていたところ、かかっている木が被災者の頭部に落下した。なお、災害発生時、被災者は保護帽を着用していた。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> かかり木の処理を行う際には、かかっている木を伐倒しようとするのではなく、かかっている木をフェリングレバーやけん引具等を使用して外すようにすること。 		飛来・落下	立木等
9	10月	道路建設工事業	男性	除草作業員	60代	<p>県道脇の除草作業の準備中、作業場所への器具等の移動を複数名で行っていたところ、居眠り運転中の乗用車が作業員1名に追突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路上及びその付近で作業を行う際は、走行する車両に十分留意した上で作業を行うこと。 		交通事故(道路)	乗用車・バス・バイク
10	10月	その他の金属製品製造業	男性	機械オペレーター	20代	<p>レーザー切断機に設けられたパレットチェンジャーにおいて、加工後の製品の詰まりが発生したため、立入禁止区域内に侵入してこれを除去しようとしていた。すると、当該作業の最中に、パレットの水平移動を行うトラバーサーが動き出し、パレットを収納するための棚とトラバーサーとの間に作業員の胸部がはさまれた。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械設備の稼働範囲内に立ち入る際には、当該機械設備の運転を停止させること。 機械設備の稼働範囲内への立入りを防止するために、防護柵等を設けること。 危険区域内に作業員が侵入した際に機械設備の運転を停止することのできる安全装置(ライトカーテン、エリアセンサ等)を設けること。 		はさまれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械

令和2年の死亡災害発生状況(速報)

令和3年3月31日現在

<事故の型>

事故の型: 交通事故(道路) 5人(45%) 墜落、転落 1人(9%) 飛来、落下 1人(9%)
 激突され 1人(9%) はさまれ、巻き込まれ 1人(9%) 高温・低温の物との接触 1人(9%)
 破裂 1人(9%)

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
11	12月	派遣業	女性	派遣労働者	30代	<p>派遣先事業場から送迎車(赤車、被災者含む3人が乗車)にて帰宅している途中、センターラインをはみ出して対向車(青車)に衝突した。その後、事故現場を避けようとしてセンターラインをはみ出して走行してきた車両(緑車)と正面衝突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法定速度を遵守し、周囲の状況を確認しながら運転を行うこと。 ・交通労働災害防止の安全教育を実施すること。 	<p>※死亡した被災者は赤車の後部座席に乗車</p>	交通事故(道路)	乗用車・バス・バイク